

整備が進む史跡富田城跡

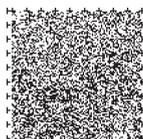


平成28年3月定例会（第82回）

3月定例会市議会は3月1日から22日までの22日間の会期で開催し、市長提出議案58件、議員等提出議案1件、同意案件1件など、いずれも原案どおり可決及び同意等しました。

主な掲載内容

- | | |
|-------------------|-------------|
| ・本会議で審議された議案等 | P 2 ~ P 5 |
| ・請願・陳情の審査結果等 | P 5 |
| ・常任委員会委員長報告 | P 6 ~ P 8 |
| ・会派代表質問 | P 9 ~ P 11 |
| ・一般質問 | P 12 ~ P 14 |
| ・行政視察報告、政務活動費について | P 15 |
| ・議会の動き、議会報告会、編集後記 | P 16 |



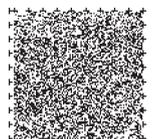
決 結 果 等

議案番号	澤田秀夫	佐々木厚子	丸山征司	作野幸憲	樋野智之	原田實与子	田淵秀喜	石倉刻夷	岩田拓郎	永田巳好	葉田茂美	金山満輝	嶋田豊昭	井上峯雄	佐伯直行	中島隆夫	上廻芳和	遠藤孝	梅林守	田中武夫
------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	------

議第 1 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 2 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 3 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 4 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 5 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 6 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 7 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 8 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 9 号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 10号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 17号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 33号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 35号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 36号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 37号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議
長

賛成…○、 反対…●、 欠席…欠、 除斥…斥、 退席…退
 議員数20人 議員定数21人 議長は採決に加わらない

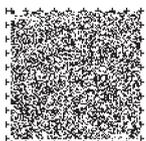


議案番号	件名	議決結果	賛成	反対
------	----	------	----	----

平成28年3月定例会

【市長提出議案】

議第1号	安来市行政不服審査会条例制定について	原案可決	19	0
議第2号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	原案可決	19	0
議第3号	安来市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第4号	安来市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第5号	安来市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第6号	安来市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第7号	安来市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第8号	安来市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第9号	安来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	18	1
議第10号	安来市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	18	1
議第11号	安来市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第12号	安来市学生寮条例を廃止する条例制定について	原案可決	19	0
議第13号	安来市消費生活センター条例制定について	原案可決	19	0
議第14号	安来市広域生活バス運行事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第15号	安来市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第16号	安来市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第17号	安来市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	18	1
議第18号	安来市立保育所条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第19号	安来市就農者定住促進賃貸住宅条例制定について	原案可決	19	0
議第20号	安来市企業立地促進条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第21号	安来市オーダーメイド貸工場等条例制定について	原案可決	19	0
議第22号	安来市公営住宅条例及び安来市営住宅等駐車場条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第23号	安来市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第24号	安来市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第25号	安来市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第26号	安来市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例制定について	原案可決	19	0
議第27号	安来市下水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第28号	安来市水道事業の剰余金の処分等に関する条例制定について	原案可決	19	0
議第29号	過疎地域自立促進計画を定めることについて	原案可決	19	0
議第30号	市道路線の廃止について	原案可決	19	0
議第31号	市道路線の認定について	原案可決	19	0
議第32号	市道路線の変更について	原案可決	19	0
議第33号	やすぎ懐古館一風亭の指定管理者の指定について	原案可決	19	0
議第34号	広瀬町学生寮A棟、広瀬町学生寮B棟及び広瀬町学生寮C棟の指定管理者の指定の議決の一部変更について	原案可決	19	0
議第35号	平成28年度安来市一般会計予算	原案可決	16	3
議第36号	平成28年度安来市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	18	1
議第37号	平成28年度安来市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	18	1
議第38号	平成28年度安来市介護保険事業特別会計予算	原案可決	19	0
議第39号	平成28年度安来市電気事業特別会計予算	原案可決	19	0
議第40号	平成28年度安来市下水道事業特別会計予算	原案可決	19	0
議第41号	平成28年度安来市簡易水道事業特別会計予算	原案可決	19	0



決 結 果 等

議案番号	澤田秀夫	佐々木厚子	丸山征司	作野幸憲	樋野智之	原田貴与子	田淵秀喜	石倉刻夷	岩田拓郎	永田巳好	葉田茂美	金山満輝	嶋田豊昭	井上峯雄	佐伯直行	中島隆夫	上廻芳和	遠藤孝	梅林守	田中武夫
------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	------

議第 42 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 43 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 44 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 45 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 46 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 47 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 48 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 49 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 50 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 51 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 52 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 53 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 54 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 55 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 56 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 57 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 58 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議
長

議第 59 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

陳情第 2 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
請願第 1 号 (平成27年)	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第 9 号 (平成27年)	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成…○、反対…●、欠席…欠、除斥…斥、退席…退

議員数20人 議員定数21人 議長は採決に加わらない

陳情第 2 号、請願第 1 号(平成27年)、陳情第 9 号(平成27年)については、不採択とする委員長報告に対して賛成の議員を○とし、それ以外を●としている

平成28年 3 月 第82回定例市議会

— 本会議で審議された議案等 —

【市長提出議案】

◎同意案件

- ・同第 1 号 安来市副市長の選任につき同意を求めることについて

◎諮問案件

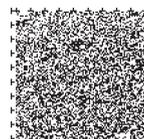
- ・諮第 1 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて



森脇新副市長による新任あいさつ

意見書の提出について

3月22日本会議に議員より提出され、全会一致で原案可決となった、「参議院選挙制度に対する意見書」については、関係行政庁へ意見書を提出しました。



議案等の議

議案番号	件名	議決結果	賛成	反対
------	----	------	----	----

平成28年3月定例会

【市長提出議案】

議第42号	平成28年度母里財産区特別会計予算	原案可決	19	0
議第43号	平成28年度井尻財産区特別会計予算	原案可決	19	0
議第44号	平成28年度赤屋財産区特別会計予算	原案可決	19	0
議第45号	平成28年度安来市水道事業会計予算	原案可決	19	0
議第46号	平成28年度安来市病院事業会計予算	原案可決	19	0
議第47号	平成27年度安来市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	19	0
議第48号	平成27年度安来市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	19	0
議第49号	平成27年度安来市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	19	0
議第50号	平成27年度安来市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	19	0
議第51号	平成27年度安来市電気事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	19	0
議第52号	平成27年度安来市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	19	0
議第53号	平成27年度安来市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	19	0
議第54号	平成27年度安来市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	19	0
議第55号	平成27年度安来市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決	19	0
議第56号	安来市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第57号	平成27年度安来市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	19	0
議第58号	安来市部設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0

【議員等提出議案】

議第59号	参議院選挙制度に対する意見書の提出について	原案可決	19	0
-------	-----------------------	------	----	---

【陳情】

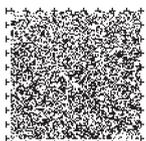
陳情第2号	旅客自動車運送事業に係る安全体制の整備についての陳情	不採択	19	0
請願第1号(平成27年)	後期高齢者医療制度の保険料の軽減特例の継続をすることを求める意見書を国に提出することを求める請願	不採択	18	1
陳情第9号(平成27年)	国民皆保険制度の維持・発展の意見書提出を求める陳情	不採択	18	1

請願・陳情の審査結果(第82回定例市議会)

番号	件名	提出者	付託委員会	審査結果
陳情第1号	T P P協定を国会で批准しないことを求める陳情	島根県農民運動連合会 代表者 長谷川 敏郎	地域振興	継続審査
陳情第2号	旅客自動車運送事業に係る安全体制の整備についての陳情	足羽 佑太	文教福祉	不採択

継続審査となっていた請願・陳情の審査結果

番号	件名	提出者	付託委員会	審査結果
請願第1号(平成27年)	後期高齢者医療制度の保険料の軽減特例の継続をすることを求める意見書を国に提出することを求める請願	島根県社会保障推進協議会 会長 池淵 栄助	文教福祉	不採択
陳情第8号(平成26年)	土居成用地の公有化について	広瀬町文化協会 会長 池田 義夫 他1名	文教福祉	継続審査
陳情第9号(平成27年)	国民皆保険制度の維持・発展の意見書提出を求める陳情	島根県保険医協会 会長 岩田 兼正	文教福祉	不採択
陳情第11号(平成27年)	T P P交渉に関する陳情	新日本婦人の会安来支部 支部長 山根 幸子	地域振興	継続審査



各常任委員長報告

予算委員長報告

委員長 田淵 秀喜

審査の経過について報告いたします。

歳入の一般財源では、「個人市民税均等割は、納税義務者数の減少により微減である。」「所得割は、退職所得の減により微減。」「法人市民税所得割は、税率変更により2億円余の減少を見込む。」「固定資産税全体としては、微増を見込んでいる。」との説明でした。

また、「地方消費税交付金のうち、社会保障財源交付金は一般財源となっているものの、充当事業が明確とされていること。」「普通交付税は、合併算定替えの特例の段階的廃止により30%の削減となるが、削減額の7割程度が還元されること、大型事業の実施に伴う起債借入れの増による基準財政需要額の増が見込まれることから、昨年度同額を計上している。」「寄付金も、件数等の説明がありました。

地方債では、「19事業に対し、対前年度14億3,940万円増の74億2,740万円の発行限度額とし、うち過疎債のハードが39億6,000万円余、合併特例債が20億7,900万円である。」との説明がありました。

複数の委員から、一時借入金

の借入金、また公債費に關しての質問があり、「金融機関からの見積りによって借入れを行っている。」「財政負担、特に公債費が減るように気に留めている。」「借換えにあたっては、市中銀行とは可能であるが、政府系の場合は資金区分によって出来ないものが多々である。」と答弁がありました。

次に歳出についてであります。
（総務企画関連）では、「定住推進事業、
「庁舎建設事業」、
「防災費」のほか、
「電子計算事務費」また「水防費」等々
についての事業内容と、それに基づく
財源の説明を受けた後に審査に入りま
した。

委員からの、「ふるさと寄付に併せた
情報発信の手法」の質問に対して、「若
い方向けの情報発信の手法、併せて市
のホームページもプロジェクトを立ち
上げ、新年度に向けて検討中である。」、
また、「救助ボートの購入」に対する考
え方に対し、「2艇目の購入である。警
察も救助ボートを所有しており、合同
で訓練を行っているし、対応も行う。」
旨の答弁があったところです。

また、「土地開発基金の使途」の質問
に対して、「工業団地整備事業に充當す
ることも可能であるが、財源、整備手
法を含めた中で検討する。」との答弁で
した。

（文教福祉関連）では、「臨時福祉給付
金」、「乳幼児医療費の拡充」、「認定子
ども園運営費」、「廃棄物処理施設整備

事業」、「小・中学校の整備」、「総合文
化ホール建設、並びに運営費」、「イン
ターハイ開催に関する経費」等々につ
いての事業内容と、それに基づく財源
の説明を受けた後に審査に入りました。

委員からの、「保育料軽減事業で記載
してある、一定所得以下の範囲と対象
者。」の問いに対し、「市の保育料階層
の8階層以下を想定し、年間640万
円以下の方が対象。1,400名のう
ちの半分が該当になる。」との答弁でし
た。

また、「高齢者季節性インフルエンザ
予防接種事業の周知方法、また負担金
の有無と受診者率。」についての質問に
対し、「自己負担金は1,500円であ
る。従来からの実施事業であり各医療
機関や健康教室、行政告知放送等々で
周知を行っている。受診率は平成26年
度で13,558人の対象者のうち45.9
%であった。」との答弁でした。

また、「廃棄物処理施設整備工事の内
容について」の質問には、「伯太の処分
場は、平成29年度の業務移管を見据え
てトラックスケールの大型化、缶類の
ストックヤード工事を行う。今後12、
3年の搬入は可能である。」との答弁で
した。

また、「給食会運営費の内容について」
の問いに対し、「給食センター利用校の
給食費事務であり、口座振替によって
納入いただく。」との答弁でした。

その他、「夢ランド、ふれあいプラザ
を含めた市有施設の修繕計画の見直し」
について、「正確性のある見直しをお願
いする。」旨の要望がありました。

（地域振興関連）では、「執行部から
「飲料水安定確保対策事業」、「就農・定
住パッケージ事業」、「水
産業振興費」、「工業団地
整備事業」、「温泉施設管
理費」、「道路改良事業」
等々についての事業内容
と、それに基づく財源の
説明を受けた後に審査に入りました。

特に、委員会開催中に説明資料の提
出があった民間賃貸住宅建設補助事業
は、「当初市独自で中心市街地を対象と
した助成制度を予定していたが、市内
全域を対象とする県事業による助成事
業との調整を行い、県の制度を活用し、
中心市街地は更に50万円を上乗せする
制度に改め、補正対応となる。」旨の説
明がありました。

委員からは、「刃物まつり事業」、「安
来節振興事業」に対しての考え方を問
われたほか、「サルボウ貝の養殖従事者
数」の質問に対して、「50名の従事者の
うち15名の市内在住者が取組んでいる。」
とのことであり、委員からは、「これを
契機として、水産業の活性化、サルボ
ウ貝復活に向けて力を注いでいただき
たい。」との要望のほか、「工業団地整
備事業」に対して、「期を逃がさないス
ピーディーな取組み。」の要望がありま
した。

委員会採決を行うにあたっては、採
決の前段で総括質疑を設けることとし、
その中で提出議案に対する委員の意思
の明確化を要請いたしました。一部の
委員からありました異議、反対である
旨の発言を踏まえ、挙手による採決を
行った結果、賛成多数により「議第35
号 平成28年度安来市一般会計予算」
は、執行部原案の通り可決すべきもの
と決しました。

総務企画委員長報告

委員長 嶋田 豊昭

目まぐるしく変化する経済情勢、人口減少や高齢化の進展による地域社会の疲弊など、本市を取り巻く環境は、今後一層厳しさを増すことが想定され、取り組むべき課題は山積しております。

長年の懸案であった三大事業も動き出し、平成28年度は第2次総合計画の初年度、かつ総合戦略も動き出す年度となります。

本委員会では、先に可決されました平成27年度一般会計補正予算(第5号)と併せ、地方創生に向けて多くの事業が計画され、それぞれ補足説明等いただきましたが、本委員会の議論の中でも財政面や財源に対して、多くの委員から不安視する声がありました。

基金運用も含め、可能な限りの事業費縮減に努めると共に、将来世代に対し禍根が残らない健全財政の継承が現役世代の責務と考えています。

また、巨額の投資を決定し動き出した、切川バイパス事業を含めた大型ハード事業は、次期総合計画で示す「まちづくり」の中核となるものであり、その活用・運用の実効性を高め成果に繋げることが必須であります。斬新かつ大胆な発想力を活かした計画立案と、スピード感ある具体的取組み展開を求めるものであります。

執行部におかれては、全職員一丸となった連携体制のもと、緊張感と目標達成への執念を持った事業推進を要請するとともに、決定機関である議会への丁寧な説明、議論を通じ、計画的に適正な予算執行をお願いすることを申し添えます。

議決案件18件については、慎重に審査した結果、全会一致でいずれも提出原案のとおり可決すべきものと決しました。

「議第1号安来市行政不服審査会条例制定について」、「議第2号行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について」は、委員から過去の行政不服申立ての回数の質問に対して、合併後10年間で、税務関係の不服申立ての1件である。また、審査会にかけないような不服申立てのケースの対応についての質問に対し、相当の案件が、直接担当課にいく場合、また市民相談室に声がかかる場合もある。それぞれでの丁寧な説明によって、ある程度納得いただいているため、案件として上がってきていないと判断している、と答弁がありました。

「議第3号安来市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例等の一部を改正する条例制定について」は、職員の派遣の例などについての質問に対し、例えば、公益財団法人等への派遣についても該当する。派遣に当たっては相手方と事前協議を重ね、身分等安心して派遣できる内容を双方確認の後に協定を結び、市長から辞令を交付する運びとなる。また、派遣によって得た知識やノウハウが、安来市にも職員にとってもプラスになるように配慮していく、と答弁がありました。

「議第12号安来市学生寮条例を廃止する条例制定について」は、施設を貸付けた後に管理上の問題が出た場合、市の管理責任は問われないかとの質問に対し、市から学校側に貸付けを行う。管理運営については学校側で契約し、管理上の問題は全て学校側での対応となる。貸付けに当たっては、フェンスと防犯カメラの設置要望があり、市で対応した、とのことでした。

「議第46号平成28年度安来市病院事業会計予算」、「議第55号平成27年度安来市病院事業会計補正予算(第1号)」は、審査に入る前に病院経営の現状と今後について委員会協議会を開催し、副市長、病院長のほか関係職員から詳しい説明を受け、意見交換を行った後に審査に入りました。

付託された2議案については、委員からは特に異論はなく、全会一致で執行部提出原案のとおり可決すべきものと決しました。

文教福祉委員長報告

委員長 梅林 守

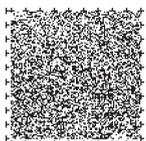
議決案件14件について、議第13号・15号・16号・18号・26号・38号・48号・49号・50号・56号は全会一致、議第9号・17号・36号・37号は賛成多数により、執行部提出原案どおり可決すべきものと決しました。

「議第9号 安来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について」は、国民健康保険税率の改定について、近年の医療費の増加、被保険者の減少、

国保税の減により、平成26年度からは基金の取り崩しで対応せざるを得ない状況となっている。市として特定健診の周知等行い医療費の抑制に努めているが、国民健康保険税率の10%程度の引き上げを必要とする国保運営協議会の答申を受け、検討の結果、本市条例の改正が必要となったと説明を受けました。

この制度をどうやって維持していくのかという視点で考えると、現時点では税率の改正は認めざるを得ない。これから医療費をどうやって削減していくかということに市として重きを置き、とにかく医療費の抑制、病気の早期発見、予防という観点を充実してほしいという要望をしております。

「議第38号 平成28年度安来市介護保険事業特別会計予算」については、平成27年度の収支状況を元に、各種の歳入・歳出の減額を行ない、対前年6,000万円減の予算規模としており、大方の予算については例年どおりである。主な変更点は、28年度は認知症の初期集中支援チームを包括支援センター内に委託する費用、今後計画していく総合事業の実施に向け検討するための費用、また医療介護連携に向けた費用を計上していることであるとの説明を受けました。委員からは、認知症の初期集中支援チーム等、新しい制度に向けた取り組みがいよいよ本格的に動き出すと思っている。介護については本人もさることながら、やはり家族の負担が大きくなる。これから対象者が増えていくと思われるが、年次的に



状況を把握し、市全域的に広げていきながら、積極的な取り組みをしてもらいたいという意見が出ました。

「議第26号 安来市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例制定について」は、

「いじめ防止対策推進法」の規定に基づき、いじめの防止等のために、またいじめによる重大事態が発生した際に必要な組織の設置についての詳しい説明を受けました。委員からは、いじめ防止には学校現場の職員がいかにか早い段階で察知し動くかということが一番重要であるため、いじめの未然防止ということががちんと機能するような組織の運用の仕方をしっかりと考えていただきたいこと、また、担任教諭だけでは対応が困難なときには、市全体の学校で相談し対処することができるような体制づくりをお願いしたい、などの意見が出ました。

「議第56号 安来市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例制定について」は、助成の範囲を中学校3年生まで拡大するものであり、4月から施行されるということで、あまり時間がないが、せつかくの良い取り組みであるので、医療現場の混乱を招かないようにしっかりと計画し進めていただきたいという意見が出ました。

「請願第1号（平成27年）後期高齢者医療制度の保険料の軽減特例の継続をすることを求める意見書を国に提出することを求める請願」、「陳情第9号（平成27年）国民皆保険制度の維持・発展の意見書提出を求める陳情について」は、国として現行の制度を維持するためにはどうしたらよいか考え、対策を示しているものであり、検討は十分に

なされている等の意見がありました。一方で減免特例がなくなれば高齢者の負担が増し、医療を受けにくくなるのではと懸念する意見もありましたが、採決により、不採択と決しました。

「陳情第2号 旅客自動車運送事業に係る安全体制の整備についての陳情」については、陳情の内容は理解できるが、国土交通省をはじめ様々な機関が改善に向けた取り組みをしているところであり、市として意見書を出すには至らないとの意見があり、採決により不採択と決しました。

地域振興委員長報告

委員長 岩田 拓郎

審査に先立ち、工業団地予定地、認定する市道、林業の中間土場予定地について現地調査を行い、担当職員より詳しく説明を受けました。その後、付託案件の審査をいたしました。その審査の結果について報告いたします。

議決案件19件については、いずれも全会一致で可決すべきものと決しました。

「議第19号 安来市就農者定住促進賃貸住宅条例制定について」は、委員より、定住する場所の設定方法、家賃、専業及び兼業の有無、就農所得の金額、住宅建築の時期等の質問があり、執行部より、定住場所は就農地や師匠も併せ募集、家賃は25年を目標に回収、専業就農者で所得目標としては280万円、住宅建設の時期については研修の2カ

年の間で確実ということであれば建設に入っていきたい。また初めて動かす制度で全国的に見ても希な制度である。地域の担い手として担い手を必要とする集落に定着していただくための仕組みで。細部については実施要領や規則等で決めていく。柔軟な対応でやっていきたいと考えている、と答弁がありました。

「議第21号 安来市オーダーメイド貸工場等条例制定について」は、委員より、貸工場の場所、既存企業の拡張の場合、審査方法等の質問があり、執行部より、場所は井尻保育所跡地、旧トス力跡地、太陽とみどりの里など、既存企業の拡張でも可能、審査方法は、市の部長のほか、中小企業診断士など、事業経営に関する知見を有する島根県の関係機関、商工団体の役職者を想定しているメンバーとする委員会による審査である、と答弁がありました。

「議第28号 安来市水道事業の剰余金の処分等に関する条例制定について」は、委員より、剰余金処分内容、条例化の時期等の質問があり、執行部より、処分内容は決算認定の議案に入っており様式や内容は変更はない。時期については法律により議会の議決または条例化の二通りあるが、日程的な考慮ならびに他市の状況などを勘案し条例制定するものである、と答弁がありました。

「議第31号 市道路線の認定について」は、委員より、道路の舗装状況や橋梁の耐震性等の質問があり、執行部より、県道から移管となる市道は、広瀬土木事業所と協議を行い、修繕が必要などころは補修をしていたらいい。橋

梁については古いが耐用年数的には当面問題ない、と答弁がありました。

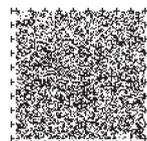
「議第33号 やすぎ懐古館一風亭の指定管理者の指定について」は、委員

より、指定管理者の非公募の理由について質問があり、執行部より、旧安来の中心市街地活性化計画から一風亭を中心に有会社で「まちづくり会社をつくる」という目的で合併当時から非公募という経緯がある、と答弁がありました。

「議第40号 平成28年度安来市下水道事業特別会計予算について」は、委員より、農集の改修について中継ポンプの交換時期や修理についての質問があり、執行部より、中継ポンプは毎年引上げて状態を確認しており、稼働が多いもので5年毎にオーバーホールを実施している。また、配電盤は10年から15年で部品の交換している。なお、中継ポンプについては通常の維持管理費で対応していく、と答弁がありました。

「議第45号 平成28年度安来市水道事業会計予算について」は、委員より、市立病院への貸付金、内部留保の状況、上水と簡水の統合による影響などの質問があり、執行部より、市立病院の貸付の返済計画は5年償還により残り3年ある。内部留保は25年度末に8億円であったが遠隔監視システム等28年度までに4億円を使用する計画である。

上水と簡水の統合による影響は、簡水の減価償却費2億円余りの支出、繰出し基準の変更による収入減など29年度からは厳しい運営になることが勘案される、と答弁がありました。



平成28年3月定例会

会派代表質問・一般質問

3月3日から8日にかけて、会派代表質問3人、一般質問12人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

会派代表質問



友会
燦 満輝
金山 議員

本市総合戦略に基づく地方創生施策の推進について

質問 住宅施策（民間住宅建設への各種支援、空き家等の有効利用等）の推進について

答弁 新規事業として、町なかにおいて民間活力による賃貸住宅の供給の拡大を図り定住を推進するため一部を助成する民間賃貸住宅の建設補助事業を創設した。U・Iターン希望者や空き家活用希望者のニーズに沿って柔軟に対応する。

質問 乳幼児等の医療費について
答弁 これまで小学6年生までの無料を4月から中学3年生までに拡充する。

質問 企業立地・誘致への取組状況について

答弁 新たな工業団地の整備については、今年度3カ所の候補地については、用地調査を実施し、具体的な比較検討などを行っている。また、中山間地域に企業が進出しやすい企業立地、誘致による雇用の拡大に努める。

質問 「事業承継」の現状と今後の取組について

答弁 市と商工会議所で創業支援の一環として事業承継セミナーを開催し、啓発及び補助制度や相談窓口等に関する情報提供をしている。また、産業サポートネットやすぎでは、アドバイザー派遣制度を実施しており、事業承継に関する悩みについて専門家を派遣し、支援を行っている。

質問 定住相談のワンストップ体制の現状と今後の方針について

答弁 関係機関で構成される雇用情報連絡会議と連携しながら、仕事、住まい、暮らしなど、あらゆる定住の相談から、支援、アフターフォロー

までワンストップで行う。

質問 地域おこし協力隊の活動状況及び今後の方針について

答弁 今年度は、観光分野では採用には至らなかった。来年度も引き続き募集をする。農業支援、林業支援、観光支援などの業務を行っている。ただく予定としている。

インバウンドを含めた交流人口の拡大について

質問 境港に入港する大型クルーズ客船への対応について

答弁 交通アクセスのための整備を充実させる必要がある。そのためには中海架橋の整備が必要であると考えている。また、誘客については、英語などの多言語化や観光アプリの整備など、受け入れ態勢の充実に努めたい。

質問 「たたら製鉄」の日本遺産登録への取組状況について

答弁 雲南市、奥出雲町、安来市の2市1町で取り組んでいる。平成28年2月10日付で県を通じて文化庁に提出をしている。

質問 中心市街地へのビジネスホテルの誘致について

答弁 中心市街地の一つの都市機能として、ビジネスホテルの必要性は強く感じ、また、ニーズもあるように考えている。しかし、ホテルの進出については、あくまで商行為で

あり、地元での競合、民益を圧迫ということもある。これはあくまでも経営する事業者の意思であるが、その重要性から、進出される強い、あるいは具体的なサジェスチョンがあれば、その環境づくりに市としても取り組んでいきたい。

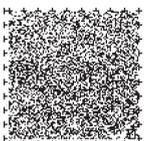
行財政改革への取組について

質問 今後の行財政改革について
答弁 中期財政見直しでも本市の財政は将来的にも心配するものではない。行革大綱を踏まえ、平成28年度からは取り組みの強化を行いながら公共施設管理計画の策定を初め、これまで以上に行財政改革を押し進める。

農林業振興について

質問 TPPに対応するための農業の競争力強化に向けた取組について

答弁 農産物につきましては、引き続き大型ほ場等の基盤整備事業、農商工が連携しての6次化産業、あるいは地域に特化したブランド化などに積極的に取り組みたい。畜産関係については、今国が畜産クラスター事業の取り組みを活用というものを強く求めているので、本市の収益力、生産基盤を強化したいと考えている。



質問 特産品「いちご」振興策について

答弁 関係機関と連携を図りながら、さまざまな支援メニューを準備している。今後も安来のイチゴの安定生産と品質向上に取り組み。

質問 持続可能な循環型林業施策について

答弁 循環型林業の推進を基本に、来年度は、国の交付金を活用して、ほ場等を整備する予定としている。これらの取り組みにより、持続可能な循環型林業を構築し、中山間地の収入増と事業者の経営安定化、さらには新たな雇用を創出していきたい。



高性能林業機械

質問 市政運営について



市民クラブ
嶋田 豊昭
議員

質問 庁舎建設工事が今進行中であるが、旧安来市の中心部の人口は年々減少しており、旧広瀬、伯太の中心部についても同様の状況にある。中心部への人口集積に必要な活性化施策の所信を問う。

答弁 中心市街地の活性化については、安来地区ばかりでなく、広瀬地区、伯太地区それぞれに拠点を分散させる、クラスター型のコンパクトシティーのまちづくりを進めている。安来地区は安来庁舎と防災公園をこの町の中心に設置、町なか居住を推進するための民間賃貸住宅助成事業、三世帯世帯定住推進補助事業、定住促進支援補助事業など進めていきたい。広瀬地区は地域センター、教育委員会、保健福祉分野を配置、広瀬庁舎を中心に市民病院、福祉専門学校を初めとする教育、医療、保健、福祉の拠点。伯太地区は、産業振興部、基盤整備部を配置する伯太庁舎中心、医師会病院を地域医療の拠点。また、地域公共交通も、まちづくりの重要な要素でイエローバス

路線の市街地循環バスの運行や、既存の路線の見直しを行い中心市街地活性化につなげる。

質問 予算編成について



新安来庁舎建設地（安来町）

質問 積極投資は有利な起債などを活用しても後年度負担が大きくなる。当面する安来市の主要事業は着実に進めなければならぬが、今年度から財政収支が悪化する。国勢調査による人口が新年度の地方交付税算定に適用されるがその影響は。

答弁 合併以降財政の健全化に取り組み、十分な体力を蓄えてきた結果起債残高の大幅削減、基金減残高の大幅増などにより、実質公債費比率など、財政指標の数値は大幅に改善した。一時的に経常収支比率は高くなるが、ご指摘の状態は決して慢性的なものではなく、いましばらくの間、以前より計画的に積み立ててきた基金を有効活用することで、行政サービスの維持は十分可能である。

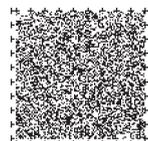
質問 国勢調査人口の減少による本市の影響額は9,400万円程度と県が試算をしているが、急激な変化は緩和される仕組みとなっており、現時点では、心配するような影響はないと考えている。

主要事業について

質問 切川バイパスは総合文化ホール、給食センターから国道9号を結ぶ将来市街地形成が期待される重要路線であり、政治生命をかけて背水の陣で早期開通に臨むべきだ。

答弁 島根県の重要路線として予算の優先確保に努めていただくとのことであり、一日も早い事業進捗に向け、今後の用地買収を含め、地元への理解をいただくことを含め、市としても労を惜しむことなく取り組んでいく。県に対して、工期短縮の手法について検討いただくよう要請しながら、一中前からサンアイ交差点までの主要区間についても、スピード感を持って進め、早期完成を目指したい。

善した。一時的に経常収支比率は高くなるが、ご指摘の状態は決して慢性的なものではなく、いましばらくの間、以前より計画的に積み立ててきた基金を有効活用することで、行政サービスの維持は十分可能である。





市史編纂について

質問 新安来市史の編纂について、合併後10年が経過した中である程度必要性を感じているため、今後検討していきたい。安来市史が完成の後、ご指摘のとおり、学校教育を初め、生かせる部分について積極的に活用していきたい。

答弁 安来市史の発行については、合併後10年が経過した中である程度必要性を感じているため、今後検討していきたい。安来市史が完成の後、ご指摘のとおり、学校教育を初め、生かせる部分について積極的に活用していきたい。

産業振興について

質問 観光は経済波及効果が大きい産業と言われている。中海・宍道湖・大山圏域でも取組んでおられる市長の考えを。

答弁 安来市には多くの観光コースがあり、恵まれている。こうした地域資源を生かし、観光振興に取り組む。中海・宍道湖・大山圏域市長会では、国内への圏域PRとインバウンドへの対応事業を積極的に進めている。

質問 安来市における航空機関連産業の取組の進捗と今後の安来市の支援について。

答弁 航空機産業については、技



ふくろう号（宇波地区自治会輸送活動車両）

術はもとより、厳格な品質管理と工程管理、多額の設備投資と技術開発が求められる参入が極めて困難な分野である。安来市としても、企業立地促進条例に基づく助成や、新技術開発に対する助成、産業サポーターネットやすぎの展示会出展助成など、支援を今後とも進めていく。

質問 月山整備を安来市全域のまちづくり、観光振興につなげる方策について。

答弁 史跡富田城跡整備計画が策定され、今年度から5カ年かけて樹木の伐採、沿道整備等により、当時の山城の機能が視覚的に理解できるようになることや、周辺の整備により、魅力が大きく向上し、観光面で大きく期待されているところである。

質問 今年10月で市長の二期目の任期が終わる。3期目を目指す考えはあるのか、目指すとすれば、その決意を伺いたい。

答弁 さらに安来市の発展のため、再度市政を担当させていただきたく、来る10月の市長選挙には、ぜひとも立候補したいと思っている。

質問 現在、宇波地区で取組まれている。安来市全体にまで広げるには、どのような検証項目をクリアしなければいけないのか。

答弁 宇波地区では、営利を目的としない地域主体の自治会輸送活動の運行について、本格運行への見通しが立ったところである。中山間地域が抱える人口減少、高齢化の進行を見据え、交通空白エリアの解消に向けた新たな移動手段の確保と、安心して住み続けるための生活サポートの仕組みづくりに向けて、宇波地区の取り組みを検証することとしている。市民が安心して利用できる生活交通の確保に向けて、交通の需要や地域の実情に応じた運行形態も検討する必要があると考える。

質問 今年10月で市長の二期目の任期が終わる。3期目を目指す考えはあるのか、目指すとすれば、その決意を伺いたい。

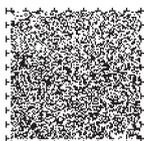
答弁 さらに安来市の発展のため、再度市政を担当させていただきたく、来る10月の市長選挙には、ぜひとも立候補したいと思っている。

質問 今年10月で市長の二期目の任期が終わる。3期目を目指す考えはあるのか、目指すとすれば、その決意を伺いたい。

答弁 さらに安来市の発展のため、再度市政を担当させていただきたく、来る10月の市長選挙には、ぜひとも立候補したいと思っている。



総合文化ホール建設地（飯島町）



一般質問

石倉 刻夷 議員

一括方式



1. 危機管理等の初動体制について
 - ①豪雨、雪害、除雪、豪雨（局地豪雨）、台風、渇水、凍結（水道等）の体制について
 - ②初動体制（発生時）の市民への伝達、周知方法について
 - ③避難所の設置体制について
2. 消防団（団員）への支援等について
 - ①団員定数（776人）うち欠員57人の補充について
 - ②分団再編成（班合併）の今後の方針について
 - ③ポンプ車並びに格納庫の整備計画について
 - ④団員の装備品（支給品）の充実について
3. 「たたら製鉄」日本遺産認定への取組について
4. 地産地消推進条例の制定について
5. 公共施設等総合管理計画の策定状況について

質問 避難所の設置状況について。

答弁 避難所は、市内149箇所、うち民間施設等が11箇所、点検整備を進めた。

樋野 智之 議員

一括方式



1. マイナンバー制度の運用について
 - ①現況をどの様に考えているのか、普及啓発の為の独自施策は
2. 道の駅あらえっさの現状と今後の運用、駅長の役割について
 - ①売り上げ前年比較、入場者数の増減は
 - ②今後のサービス提供、商圏拡大策、どのような商品提供で賑わいある駅にするのか
 - ③直営から、将来民間での指定管理の計画は
3. 広瀬地区まちづくり事業での事業評価と今後の対策について
 - ①5年事業後の効果検証は、報告書の策定内容は
 - ②ふれあい館の指定管理計画と将来への展望は
 - ③今後の整備方向は
 - ④文化課・商工観光課と連携作業が出来なかった理由
 - ⑤未工事部分への今後の改善策
4. 月山富田城跡環境整備に伴って、広瀬町の町中活性化・街づくりについて
 - ①歴史を活かしての観光地魅了向上の考え、きめ細かな質の高い誘導サインは

質問 広瀬街づくり事業、予算削減に至った経緯と最終執行予算は。

答弁 最終段階で合意が得られず遊歩道整備など規模縮小に至った。当初計画3億円に対し1億9千万円の実績。

田淵 秀喜 議員

一問一答方式



1. 第2次総合計画初年度、「総合戦略」を踏まえた市政運営について
2. 「安全・安心なまち」実現に向けた取組強化について

質問 3大事業がまちづくりの重要な柱として、今後の具体的な施設活用により成果につなげていくのか、決意を伺いたい。

答弁 3大事業として整備した施設を行政、文化、教育の新たな交流拠点として有効に活用することにより、第2次総合計画に掲げた目指す将来像を実現していく。

質問 自主財源に乏しい安来市のような地方自治体においては、厳しさを自覚した財政運営が必要ではないか。

答弁 大型事業が終了する時期を踏まえて、将来的な全貌については行革大綱に基づいた行革、公共施設の在り方等、具体的な計画を策定する中で、緊張感を持って財政運営にあたっていきたい。

澤田 秀夫 議員

一括方式



1. 介護保険制度改正への対応について
2. 公共施設マネジメントによる空き施設の今後について
3. 環境衛生業務について
4. 渋滞緩和策について

質問 平成29年度以降の介護利用料の方向性は。

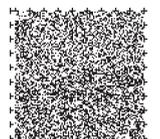
答弁 全国的に見ても現行のままの利用料で地域支援事業に移行する市町村が大方であり、介護に関わる人材の問題もあり、利用料の引き下げは難しいと考える。

質問 煙霧消毒の方向性は。

答弁 煙霧消毒を実施されている自治会に薬剤の製造中止や近隣自治体の状況等もご理解いただいた上で、平成28年中に結論をだし、併せて市民への周知を行いたい。

質問 総合文化ホール開館後の渋滞緩和策は。

答弁 大規模なイベントの状況をみながら検討することとなるが、安来道路の側道を右折する信号の時間調整や催しの内容により、シャトルバス等の運行も必要ではないかと考える。



岩田 拓郎 議員

一問一答方式



1. 第2次安来市総合計画について
 - ①人口・定住対策・切川地区の開発について
2. 地産地消について
 - ②農業振興の上でも、学校給食、市の関連施策（食育・ふるさと納税、民間企業など）との連携が必要ではないか。
3. 給食センターの栄養士について
4. 安来市立病院について

質問 切川バイパスの早期完成には、給食センターや文化ホールに続くこの地区の具体的な開発計画を示すことが重要と思うがどのように考えているか。

答弁 切川バイパスは、平成8年度に策定した安来市都市計画マスタープランで地域幹線道路として位置づけ、最重要路線として整備が始まった事業であり、この地区は将来市街地として位置づけられている。今後、切川バイパスの完成により住宅の建築や企業の進出が見込まれるが、農林漁業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を確保し、地元の皆様の意向を踏まえ地区計画制度などにより、適正な開発が進んでいくものと考えている。

佐々木厚子 議員

一問一答方式



1. 市民の安心安全について
 - ①自主防災組織について
 - ②行政告知端末未設置世帯の解消について
2. 子どもの予防接種について
 - ①今年度の小児予防接種事業費について
 - ②インフルエンザワクチン、ロタウイルスワクチンの予防接種について
3. 「移動投票車」の導入について

質問 自主防災組織をさらに多くの自治会が立ち上げ、避難訓練など行っていくべきだと思うがどうか。

答弁 様々な災害により避難の形態が違うので、一律に立てづらいのが実情。しかし、防災講習会等を行い、災害図上訓練等を行い意識向上に努めている。

質問 インフルエンザワクチン、ロタウイルスワクチンの予防接種の無料化もしくは助成についてどう考えるか。

答弁 国では予防接種制度の見直しがなされている。感染症の動向と、国、県の対策、近隣自治体の状況を踏まえ対応を考える。

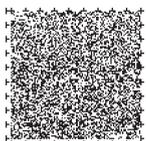
上廻 芳和 議員

一問一答方式



1. 学校給食と地産地消について
 - ①給食センターへの納入業者の選定方法について
 - ②選定された業者と地元産の物を取り扱っている業者の数は
 - ③4月より始まる給食センターでの地産地消に対する体制は
 - ④一般財団ふるさと公社の業務内容、役員構成、職員体制について
 - ⑤ふるさと公社の理事会等でしっかり議論をして農家のためになる公社になってほしい
2. 平和に関することについて
 - ①昨年行われた「平和の集い」を今後も続けられる考えはあるのか
 - ②戦没者追悼式典について
3. 中山間地域対策について
 - ①平成28年度の事業で中山間地域活性化の事業は、何があるか
 - ②中山間地域の交流センターでの確定申告受付中止は、中山間地域カットにつながりはしないか。また、広瀬庁舎、伯太庁舎会場が隔日になった理由は。
 - ③交流センター業務で最も大切な業務は何であると認識しているか
 - ④交流センターにも行政事務の手伝いの業務があるときいているが、どのような業務があるのか
 - ⑤交流センターのあるべき姿は何であると考えておられるか

※質問項目のみを掲載しています。



原田貴与子 議員

一問一答方式



1. 原発再稼働に関わる諸問題について
2. 市民の命と健康を守る国民健康保険事業について
3. 現行制度の改善と周知で、住みよい町にすることについて

質問 中国電力の不正問題が続き、中電の運転は不適正だと指摘されている。

答弁 松江市の4度の立ち入り調査に同席し、再発防止策の説明を受けた。

質問 活断層調査が調査するたび伸びている。過小評価の確定が懸念される。今回西側だけの調査であり、宍道断層は東側に伸びる可能性がある。「地震を起こしえる震源断層と活断層の関係は研究途上であり、信頼できる予測は困難、島根原発敷地と周辺の地下構造が、明らかになって初めて議論が可能である」と科学者がのべている。

答弁 中国電力が西の端の延長を対応することで、2号機の審査が進捗すると考えている。

質問 国保税は、市のモデル世帯で、所得200万では18.5%となり、夫婦2人世帯で所得150万円では13.7%です。国の平均より高く、滞納者も多い。医療費の縮減対策には、がん検診も無料にすべきだ。

答弁 今後も安来市医師会等関係団体と連携して、特定保健指導の利用を働きかけたい。

質問 現状の改善、減免制度、赤字の補てんに法定外繰り入れをし、国保税の引き上げはやめるべき。

答弁 相互扶助制度であり、国保加入者以外の方の税金を投入すべきではないため、基準に従い法定内繰入を行っている。また、国に支援を求めている。

佐伯 直行 議員

一問一答方式

1. コンパクトシティのまちづくりについて
2. インド視察での経済連携交流と国際姉妹都市提携について



質問 市街地での快適な移動とクラスターの地域間交通の確保は重要であるが、どのように考えるか。また、将来のコンパクトシティ構想を踏まえて、安来市の考えを伺う。

答弁 交通は、安来市のまちづくりの重要な要素として捉えている。安来市市街地ゾーンと広瀬・伯太の地域中心拠点ゾーンはクラスターとして、まちづくりの中心的役割を果たすことから、現在運行しているバス路線の見直しを行いながら、利用しやすい地域間交通を目指す。市街地交通は、中心市街地における回遊性を促進し、活性化につながる交通へと整えていく。

質問 中海圏域でのインド交流は、安来市として、今後の経済連携交流と国際姉妹都市提携をどのように考えるか伺う。

答弁 今後、産業振興など大いに期待ができ、圏域市長会として、企業のインド進出を支援するので、当市の企業も積極的に活用していただきたい。また、機運が醸成されれば、姉妹都市交流もひとつの交流の手段と考えている。

作野 幸憲 議員

一問一答方式

1. 人口減少・地方創生対策と予算について
2. 各産業での地産地消について
3. 新教育委員会制度と学力向上について



質問 道路に使うデリネーター等の建設資材に地元産木材を少しでも使ってみては。

答弁 視線誘導標のデリネーター等につきましては、島根県では山間部の景観になじむような場所で採用しており、安来市でも可能かと考える。今後は、製品の状況を見ながら景観に配慮した形で地元産木材の活用に向けて検討したいと考えている。

質問 教育委員会議も「開かれた教育委員会」を目指して、議事録を公表する方向で検討しては。

答弁 教育委員会議の議事録については、努力義務となっているが、会議の透明性を高めたり、市民の皆様からのチェックの向上性ということを考えても今後しっかり検討していきたいと考えている。

永田 巳好 議員

一問一答方式

1. 新年度予算について



質問 一時的に財政負担は重くなるが、これに備えた基金を有効に活用しながら、行財政改革を推進し、また現行の市民サービスに影響を及ぼさないように財政運営を行っていくということであるが。

答弁 財政運営は、単年度の要するに収入と、基金による備えの合わせわざで進めている。毎年度の予算運営を確実にすることで基金を設けているので、基金をうまく使いながら財政運営をしていく。

質問 現在、工業団地の整備については、入っていた企業がある程度決まってから、整備に向っていると思うが。

答弁 インター工業団地では、現在4社入っていたが、開発時点は3社から申出があり、そのうち1社が進出された。工業団地をつくる上で、進出企業が確定をしてということではなく、計画を進めながら企業に当たっていくことが肝要だと思っている。

質問 安来市立病院の耐震化について。

答弁 公共施設の耐震化は進めていきたいと思っているが、市立病院をどうするかというのは、大きな費用がかかるので、今後検討していきたい。

丸山 征司 議員

一問一答方式

1. 「生涯活躍のまち」づくりについて
2. 時流に乗った、強みを活かした（あるものいかし）のまち育てについて

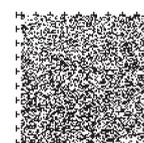


質問 鳥大病院のドクターヘリ構想についての見解は。

答弁 鳥取県救急医療体制高度化検討委員会が設置され、平成29～30年度を目途に運用開始する方向であると伺っている。その際の基地病院は鳥取大学附属病院との事だが、安来市への到着時間も従来の3分の1程度に短縮され、救命率の向上が更に図れるものと考えている。今後の具体的な検討状況の情報を得ながら、従来からの連携をより一層深めたい。また、現在は中国5県のドクターヘリ広域連携協定による相互乗り入れを行っているため、この協定の中で将来も同様な運用が図っていけるものと考えている。

質問 介護保険改正財務省案で、要支援1～要介護2の福祉用具、生活援助サービス等の原則自己負担の構想について、撤回の要望をしては。

答弁 現段階で国から示された案件は無いので、市の方からはコメントを控えさせていただく。



【島根原子力発電対策調査特別委員会】行政視察報告

委員長 遠 藤 孝

＜視察目的＞

東日本大震災に起因する東京電力福島第一原子力発電所事故を契機に、全国の原子力発電所が稼働を停止し、本市に隣接する松江市立地の中国電力島根原子力発電所1・2号機も同様に停止中である。

国は、原発を今後ともベースロード電源と位置づけ、安全が確認されたものから順次再稼働させる方針を崩していない。こうした状況のなか、原発のUPZ圏内に立地する自治体の議会として、中国電力島根原子力発電所2号機が再稼働した際、万が一にも事故が発生した場合の避難計画についてより有効に機能するよう、主体的に関わっていかなければならない。そのため、特に正確な情報開示を原則とする住民対応、緊急時の避難計画について、国内で唯一稼働を始めた九州電力川内原子力発電所周辺の、本市と同じ状況にある周辺立地自治体を対象に行政視察を実施した。

＜視察概要一覧＞

視 察 内 容	視察月日	視 察 先
○原発災害時の住民避難計画について ○原発再稼働までの市としての経緯について	1月18日	鹿児島県いちき串木野市
	1月19日	鹿児島県日置市
	1月20日	鹿児島県鹿児島市
○発電所の概要及び安全対策の実施状況について ○各種安全対策施設の設置状況について	1月19日	九州電力川内原子力発電所 (鹿児島県薩摩川内市)

●考 察

今回の視察においては、九州電力川内原子力発電所そのものの安全対策の実情、確実な情報開示と住民への連絡方法、更には最悪の事態を想定した住民避難の体系と組織体制等、本市としても喫緊の課題として考えられる事項について直接現地の状況や取組み内容を確認・議論することができた。

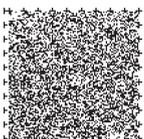
今回の行政視察で得た知見については、市関係部局に情報提供し、今後の本市の取組みに活用されるよう、また関係機関等との連携を更に密にし、今後とも、原子力関連課題解決に向けた取組みに対し、的確かつ有効な意見提起をしていきたい。

政務活動費が改正されました

本市議会ではこの数年来、議会改革特別委員会を中心に、議員の政務活動のあり方、適用範囲及び金額の妥当性などについて議論を重ねてまいりました。その結果、昨年9月定例会市議会において議会改革特別委員会中間報告を市議会の総意として行い、議会終了後、市長に対し金額を含め政務活動費の見直しを申し入れました。これを受け、去る3月定例会市議会において、市長から「安来市議会政務活動費の交付に関する条例」の一部を改正する条例が提案され、可決されました。主な改正点は、次のとおりです。

- ① 金額を増額する。(月額1万円を2万円に変更。ただし、定額制から限度額制に変更。)
- ② 一括前払い方式を改め、請求の都度、内容を審査したうえで概算交付する。

※これらの改正に併せ、市議会では、政務活動費の本来の趣旨を再確認し、今回の改正が議員活動の活性化に資するよう、また政務活動に市民の疑念が生じることのないよう、改めて政務活動費の用途基準の明確化、厳格化を実施しました。用途については、今後、機会あるごとに市民の皆様にご公開してまいります。



議会のうごき

〈平成28年1月1日～3月31日〉

1 月

- 3日 安来市成人式記念式典
- 7日 平成28年美保基地賀詞交歓会（境港市）
- 10日 安来節唄い初め会
安来市消防出初式
- 18日～20日 島根原子力発電対策調査特別委員会行政視察（鹿児島県いちき串木野市、日置市、九州電力川内原子力発電所、鹿児島市役所）
- 22日 議会改革特別委員会行政視察（出雲市議会）
- 23日 将棋第65期王将戦第2局前夜祭
- 29日 山陰都市連携協議会（浜田市）
- 30日 安来青年経営者協議会創立60周年記念式典

2 月

- 1日 議会運営委員会
土地開発公社理事会
市庁舎等建設事業調査特別委員会
- 3日 全国広域連携市議会協議会総会（東京都）
- 4日 全国市議会議長会基地協議会総会（東京都）
- 5日 給食センター竣工式
- 8日 特別交付税中央要望（東京都）
- 9日 栃木県鹿沼市議会視察来市
- 16日 愛媛県東温市議会視察来市
議会改革特別委員会
- 17日 都市計画審議会
- 18日 全国市議会議長会建設運輸委員会（東京都）
- 20日 近畿安来会総会（大阪市）
- 22日 竹島の日記念行事並びに竹島北方領土返還要求運動島根県大会（松江市）
- 23日 議会運営委員会
なかうみマラソン全国大会実行委員会
- 28日 b j リーグ安来大会オープニングセレモニー
農事組合法人おおつか営農組合通常総会
- 29日 農事組合法人「ファーム宇賀荘」通常総会

3 月

- 1日 議会運営委員会
本会議（3月定例会開会）
- 2日 議会運営委員会
本会議
全員協議会
予算委員会
議員懇談会
- 3日 本会議（代表質問等）
- 4日 本会議（一般質問）
- 7日 本会議（一般質問）
- 8日 本会議（一般質問）
全員協議会
- 9日 文教福祉委員会
- 10日 地域振興委員会
- 11日 総務企画委員会
- 12日 ひだまりの里ふべ竣工式
- 14日 予算委員会
- 15日 予算委員会
議会運営委員会
- 16日 中海沿岸振興事業等調査特別委員会
議会改革特別委員会
- 17日 島根原子力発電対策調査特別委員会
- 19日 学校法人広瀬学園島根福祉専門学校卒業式
- 22日 議会運営委員会
本会議（最終日）
市庁舎等建設事業調査特別委員会
安来市土地開発公社理事会
- 23日 島根県神社総代会出雲部会総会
- 24日 能義第二地区農地整備事業竣工記念碑除幕式
島根原発安全対策協議会（松江市）
- 25日 伯太発電所運転開始式及び見学会
- 26日 はくた花開く町学童軟式野球大会
- 29日 安来商工会議所通常総会

議会報告会を開催します！

安来市議会では、市民の皆さまに開かれた議会を目指し、各中学校区単位で、議会報告会を開催しています。

今回は「3月定例会の報告」と「意見交換」をさせていただきます。
市民のみならずだれでも参加できますので、ぜひお出かけください！

日 時	中学校区	場 所	担当議員（○は班長）
4月21日(木) 午後7時00分～ 8時30分	一 中	安 来 中 央 交 流 セ ン タ ー	○嶋田 豊昭、井上 峯雄 永田 巳好、樋野 智之
	二 中	大塚交流センター	○佐伯 直行、遠藤 孝 岩田 拓郎、原田貴与子
	三 中	飯梨交流センター	○上廻 芳和、中島 隆夫 田淵 秀喜、佐々木厚子
4月22日(金) 午後7時00分～ 8時30分	広瀬中	広 瀬 中 央 交 流 セ ン タ ー	○作野 幸憲、梅林 守 金山 満輝、澤田 秀夫
	伯太中	井尻交流センター	○石倉 刻夷、葉田 茂美 田中 武夫、丸山 征司

編集後記

今年度の一般会計当初予算は、合併以降最大の292億円となりました。議会としては、適切な予算執行がなされるようチェック機能を果たしていきます。

議会だより・ホームページにつきまして、皆さま方のご意見・ご感想をお待ちしています。

安来市議会広報委員会

